

ボーダレス・アートギャラリーNO-MA施設合同企画展

第2回 i n g・・・～障害のある人の進行形～

昨年10月、滋賀県内施設合同展として、第1回「i n g・・・～障害のある人の進行形～」を開催いたしました。参加した17施設の制作現場に関わる職員が、障害のある人たちがつくった作品や活動について議論し、個々の作品の良さを活かす展示をめざした展覧会です。

障害のある人の作品は施設や自宅で保管されているのが通常ですが、その扱いは周りの人たちの理解によって大きく変わります。昨年の実行委員会に参加した制作現場に携わる職員たちは、障害のある人たちの創り出すものの魅力に惹かれ、その活動にどう取り組んでいくべきかを試行錯誤しています。

展覧会を多く開催している施設にも、そうでない施設にも、熱意を込めて作品をつくっている人がいます。実行委員会を重ねることで、障害のある人の表現活動に情熱を持つ職員の存在や作品に対する強い思いに改めて気付くことができ、そうした中で作り上げた昨年の展覧会は企画段階から施設同士をつなぐ大きな意味をもったものになりました。

今年は、新たな施設も加わり、昨年以上に熱気のある実行委員会を重ねてまいりました。日々新しく生まれる超個性派ぞろいの自由な造形の世界を是非、多くの皆様にご観覧いただき、現在進行形の滋賀の障害のある人たちの造形活動の一端を知っていただく機会になれば、と願っております。

●開催期間

2005年12月10日（土）～2006年1月22日（日）

休館日＝月曜日（ただし1月9日（月・祝）は開館。翌日10日（火）休館

年末年始12月28日（水）～1月4日（木）休館。）

開館時間：午前10時～午後5時

●会場

ボーダレス・アートギャラリーNO-MA

滋賀県近江八幡永原町上16

TEL・FAX 0748-36-5018

●観覧料

一般200円 大高生150円 小中生100円

（ギャラリーの規定により、減免および団体割引の適用あり）

●主 催

第2回「i n g・・・～障害のある人の進行形」展 実行委員会
ボーダレス・アートギャラリーNO-MA（滋賀県社会福祉事業団）

●出展施設 17施設

あかね寮／近江学園／唐崎やよい作業所／湖北寮／信楽青年寮
社会就労センターあおぞら／社会就労センターこだま／ステップ広場ガル／デイ
サービスセンターらく／ にぎやか塾／にっこり作業所／彦根学園／藤美寮／も
みじ寮・あざみ寮／やまなみ工房／やまびこ作業所 （50音順）

●お問い合わせ

ボーダレス・アートギャラリーNO-MA

滋賀県近江八幡永原町上16

TEL・FAX 0748-36-5018

E-mail : plan-do5@hukusi-shiga.net

<http://www.hukusi-shiga.net/jigyoudan/>

●出展者紹介

辻田誠二（Seiji Tujita）



1952年生

毎日部屋でノートに文字を書いている。100本はあるかと思われるボールペンと、ノートの山。書いては違うノートに書き、毎日スタッフにその紙をちぎって渡す。仕事場である陶器班でも、平たい陶土に棒で文字を書き、その上に土を盛り重ねている。

信楽青年寮

山本義英 (Yoshihide Yamamoto)



絵を描くところを人には見せない。でも、出来上がると絵具が乾かないうちに、皆に見てもらうために持って歩く。見た人が感想を言う前に次の人に見てもらうために行ってしまう。

ステップ広場ガル

鈴木雅和 (Masakazu Suzuki)

1974年生。



紙に線をグルグルと素早く描き色をつけていく。数枚描き終わると、黙々とハサミで四角に小さく切っていく。黙々と。切り終わるとダンボール紙に切った四角を絵が見えるように確認しながら水のりと筆を使って両面に丁寧にゆっくり端から貼っていく。全て貼り終わると、再び線を描く、切る、貼る、描く、切る……。これをくり返しくり返し。3年続いている。

にぎやか塾

藤井博文 (Hirohumi Fujii)

1971年生



小学生の頃 TV 放映で"孫悟空"を見てからというもの、毎日ビデオが擦り切れるまで見続けた。陶芸に出会い粘土で孫悟空を作るようになる。次に角を付けて鬼になった。現在はそのどちらもが彼の得意とする作品である。

唐崎やよい作業所

福田広明 (Hiroaki Hukuda)

1956年生



粘土を前にすると、自然にイメージが湧き作品創りにとりかかる。つぼ、オブジェその他の作品、いずれも丸い模様が彼の作品の特徴である。ゆっくりとしたペースで、楽しさの中から生まれだした彼の世界である。

藤美寮

関連イベント

●アウトサイダー・アートシンポジウム

- 日 時 平成17年12月17日(土) 午後3時～5時
場 所 野間清六邸(ギャラリーNO-MA 向かい)
定 員 30名(参加無料)
研究テーマ 「アウトサイダー・アートーその解釈と公開ー」
プログラム 第1部 事例発表 15:00～15:50
今中博之(社会福祉法人素王会アトリエインカーブ理事長・施設長 イマナカデザイン一級建築士事務所 代表)
奥平俊六(大阪大学大学院文学研究教授)
第2部 パネルディスカッション 16:00～17:00
井上多枝子(信楽青年寮支援員)
和田雅弘(株式会社伏見工芸)
服部正(兵庫県立美術館学芸員)ー進行役ー
※主催:日本学術振興会「人文・社会科学振興プロジェクト研究事業」
文学・芸術の社会的媒介機能「芸術とコミュニティー・アート」美術
部門研究会

●ギャラリートーク&ワークショップ「NO-MAの瓦に絵を描こう」

- 日 時 平成18年1月15日(日) 13:00～17:00
場 所 ギャラリーNO-MAにて午後1時～
定 員 30名(参加費無料・ただし観覧料要)
プログラム 第1部 ギャラリートーク・・・出展者、各施設現場スタッフ
講評 山下里加(美術ライター)
第2部ワークショップ・・・NO-MAの役目を終えた古い瓦に思い思い
の絵を描いてみませんか。テーマは“顔”。

以上、今展についてご紹介いただけますようよろしくお願い申し上げます。
お問い合わせは下記までお願いいたします。

滋賀県社会福祉事業団企画事業部 0748-75-8615
ボードレス・アートギャラリーNO-MA 0748-36-5018
(担当 錦織真奈美・西原祐子・垂井光恵)